



KONICA MINOLTA

コニカミノルタジャパン株式会社 様

本社：東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング

設立：1947年(昭和22年) 代表者：原口 淳

資本金：3億9,710万円

従業員数：3,526名 ※2019年4月現在

Webサイト：https://www.konicaminolta.com/jp-ja/

導入機種：VSP-2(2セット)

導入時期：2019年7月

基本構成：受付スペース/応接室/会議室が仕切り壁一枚を隔てて隣接していることから、応接室の会話が受付スペースに、会議室の会話が応接室に漏れて聞こえないよう、受付スペースと応接室にそれぞれVSP-2(コントロールユニット+拡張スピーカー2台のセット)を設置。効果を確実にするため、最適なマスキング音の設定やボリュームを定め、常時稼働をルールとして運用。

次世代型サービス拠点“第1号”での成功体験を経て “第2号”となる神田オフィスに「VSP-2」を導入



■ “働き方改革”推進のための 次世代型サービス拠点 “第2号”を神田に開設

- 自社の“働き方改革”実践の場として、2つ目となる次世代型サービス拠点を神田に開設
- 第1号拠点(新橋)で高評価だったスピーチプライバシーシステムを神田オフィスにも採用

業務効率化・最適化により創造的な“自分じかん”を生み出し、会社と社員の両方にとって“いいじかん”を実現する「いいじかん設計」コンセプトのもと、自社の“働き方改革”を進めるコニカミノルタジャパン株式会社。その実践の舞台となるのが、さまざまな既存概念を取り払いゼロベースで作り上げた次世代型サービス拠点です。2018年9月の第1号(港区新橋)に続き、2019年5月には千代田区神田に第2号となるオフィスを開設。個別のデスクを廃止しフリーアドレス化された明るくオシャレなオフィス空間を、サービススタッフ(社員)40~50名が利用しています。同社は、新橋オフィスにおけるさまざまな試みから見てきた課題について改善・改良を加えつつ、高評価を得たものは神田オフィスに於いても採用しました。そのひとつがヤマハのスピーチプライバシーシステムです。

■ 応接室/会議室の会話をマスキング処理することで コンパクトな空間に必要な機能を実現

- お客様が入り出す受付や応接室、幹部会議が行われる会議室が隣接。会話が漏れて聞こえる懸念が。
- 受付スペースと応接室に「VSP-2」を2セット導入。応接室や会議室から漏れる会話の音声をマスキング処理。

同社にとってスピーチプライバシーシステムは、限られたフロア面積の中で自由で活発なコミュニケーションを実現するために欠かせないものです。顧客訪問がメインのサポート業務では拠点を都心の便利な場所に置くのが理想ですが、当然賃料も割高になるため、業務スペースはもちろん会議室や応接室などの必須機能をコンパクトにする必要がでてきます。今回の神田オフィスも、受付スペースと応接室、応接室と会議室を隔てるのは仕切り壁(パネル)1枚だけで、機

密性の高い会話が隣接するスペースに漏れて聞こえてしまうという懸念がありました。そこで神田オフィスでは、受付スペースと応接室にスピーチプライバシーシステム「VSP-2」を2セット導入。これを常時稼働することで、応接室における顧客や取引先との会話や、会議室にて定期的開催される幹部会議の内容をマスキング処理し、情報漏えい対策としています。

■ 「いいじかん設計」を実現する1パーツに スピーチプライバシーシステムを採用

- 音声のセキュリティをスピーチプライバシーシステムで確保
- 神田オフィスを訪れる顧客や取引先に、スピーチプライバシーシステムを積極アピール

同社では、フリーアドレス化を推進したり、スピーチプライバシーシステムやOffice 365などのITツールを自ら積極活用していくことで、「いいじかん設計」コンセプトの実現に役立つ製品・サービスを厳選。それを組み合わせることで顧客に向けてさまざまなソリューションを提案しています。その意味で、新橋および神田のオフィスは、「いいじかん設計」を実現するソリューションのショーケースという役割も担っています。実際、神田オフィスでは、商談などでオフィスを訪れる顧客や取引先に向けて、あえて目につきやすい場所にVSP-2のコントロールユニットを設置。製品概要を紹介するPOP作成して添えたり、マスキング音に気付いた来訪者に都度その機能や特長を説明したり、同様の課題を抱える企業へのアピールに余念がありません。同社は今後もこうした次世代型サービス拠点を展開し、顧客とともに「いいじかん設計」コンセプトを具現化していく計画です。

「いい時間設計」とは。

『コツコツ仕事をこなす「作業じかん」を減らすのと同時に、アイデアを生み出す「創造じかん」や休み、育み、学び、視野をひろげる「自分じかん」を増やす。働く時間を削るだけでなく、会社の社員に最適な「いいじかん」を増やすことに焦点を当てるのが「いいじかん設計」による働き方改革の考え方です。』

「いいじかん設計」はコニカミノルタジャパン株式会社の登録商標です。

ご活用
いただいた機器

VSP-2

希望小売価格：178,000円(税別)
JANコード：ホワイト(W)/4957812650083、
ブラック(B)/4957812650878

オフィスなどで会話のプライバシーを守り、仕事に集中できる場所を提供！
セバレート型の採用で設置性を高め、情報マスキング音の調整機能も強化。

お客様の声



コニカミノルタジャパン株式会社
東京支社 東京サービス統括部
東京サービスセンター
センター長

小林 正和 様



コニカミノルタジャパン株式会社
東京支社 東京サービス統括部
東京サービスセンター
東京第1サービスクループリーダー

北村 友和 様



コニカミノルタジャパン株式会社
東京支社 東京サービス統括部
東京サービスセンター
東京第2サービスクループリーダー

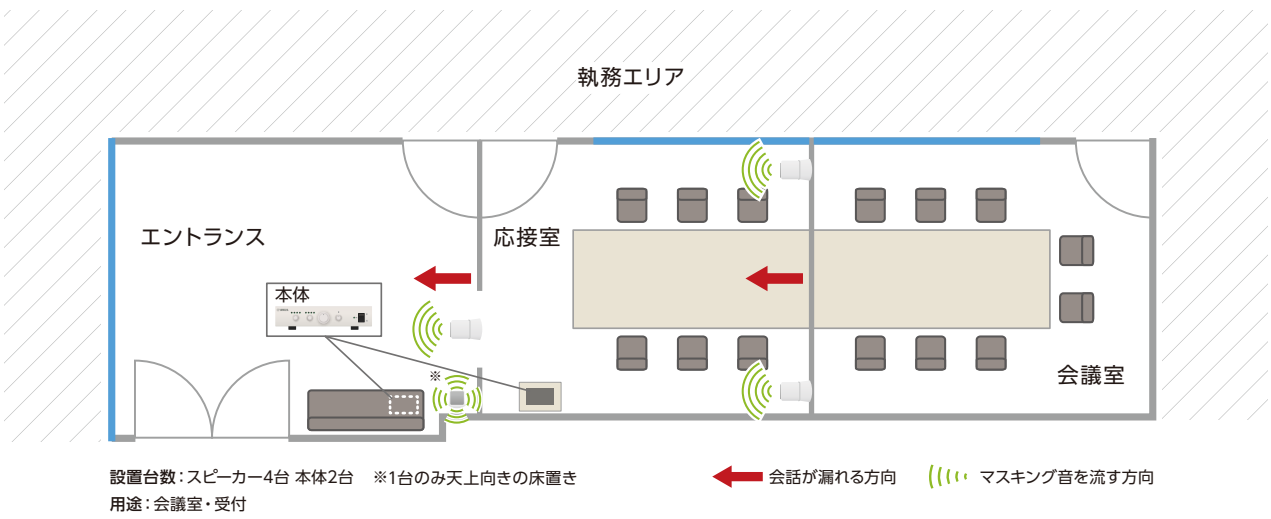
小泉 貞治 様

同様の課題をもつお客様に
スピーチプライバシーシステムを提案していきたい

今回、神田オフィスでは、スピーカーとコントロールユニットが別になっている新製品VSP-2を採用しました。一体型のVSP-1に比べスピーカーが驚くほどコンパクトでより一層スタイリッシュになった印象です。小さいながらも広指向性のスピーカーはマスキング効果が高く、壁の一部を透明なガラス(遮音材を挟んだパネルよりも遮音効果が落ちる)にして開放感のある応接室を実現できました。スピーカーとコントロールユニットの配線工事もありましたが、1日かからずに設置できました。当社が重視する“自社実践”で得た成功体験を、同様の課題をもつお客様に積極的に情報発信していきたいと思っております。

コニカミノルタジャパン株式会社様におけるVSP-2の活用方法

- 隣接する応接室の会話が漏れて聞こえるのを防ぐため、受付スペースにVSP-2を設置。爽やかさを演出するため、情報マスキング音+環境音(川のせせらぎ)を流している。
- 隣接する会議室の会話が漏れて聞こえるのを防ぐため、応接室にVSP-2を設置。マスキング効果を優先し情報マスキング音のみを流している。
- 効果を確実にするため、最適なマスキング音の設定やボリュームを定め、常時稼働をルールとして運用。



VSP-2の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/speechprivacy/vsp-2/>



●本資料に記載された製品名および企業名は、各社の登録商標または商標です。



製造元
ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
2020年1月作成

スピーチプライバシーシステム 製品・ご購入相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先

☎ 03-5488-6844

■ メールでのお問い合わせ先

<https://sound-solution.yamaha.com/support/speechprivacy>

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)